

リヤドを訪問される皆様へ


2018年7月

在サウジアラビア日本国大使館

サウジアラビア王国概要

国名：	サウジアラビア王国 (Kingdom of Saudi Arabia)
面積：	215万平方キロ (日本の約5.7倍)
人口：	約3,255万人、うち在留外国人は約1,214万人 (2017年統計庁発表)
公用語：	アラビア語 (他に一部で通用する外国語は英語)
独立年月日：	1927年5月20日 (アブドゥルアジーズ初代国王の国家統一)
国祭日：	9月23日 (建国記念日) (1932年同日、勅令により「サウジアラビア王国」の建国宣言)
主要都市：	リヤド (首都)、ジッダ (西部)、メッカ (聖地)、メディナ (聖地)、 ダンマン (東部州)、アブハ (南西部)
政体：	欧米諸国で言われるところの「議会」・「憲法」はないが諮問評議会及び統治基本法がそれぞれ国会・憲法に近い機能を持つとの議論もある。 国王が政治上の実権も有している君主制である。
国家元首：	二聖モスクの守護者 サルマン・ビン・アブドゥルアジーズ・アール＝サウド国王 (Custodian of The Two Holy Mosques、King Salman Bin Abdulaziz Al-Saud、1935年生誕、2015年1月23日即位) (首相兼任)
宗教：	イスラム教 (スンニ派に属するワッハーブ派と他称)
通貨：	1ドル＝3.75サウジ・リヤル (固定レート) 1サウジ・リヤル＝約30.09円 (2018年7月現在)
在留邦人：	1106名 (在サウジアラビア大使館管轄522名／2018年7月現在) (在ジッダ総領事館管轄584名／2018年7月現在)
入国邦人数：	15,437人(2013年実績・在留邦人含む／2014年10月発表)
日系企業：	118企業 (2017年8月現在、在サウジアラビア大使館管轄)

御滞在中の注意事項

項 目	サウジアラビア（リヤド）
時 差	日本より6時間遅れ。（リヤドの正午が日本の午後6時）
気 候	内陸にあるため、典型的な大陸性砂漠気候で、一年間を通して乾燥している。
服 装	7月の気温は40度を超え、時に50度近くまであがることもある。乾燥もしているため、水分補給を欠かさず行うこと。男性であれば半袖が快適だが、屋内は冷房が効きすぎていることもあるので注意。また一般的に男女を問わず、肌を露出する服装は避ける。男性は半袖可、短パン不可。特に女性は、外出時にアバヤ（女性の全身を覆う黒衣）着用が義務づけられている。
健康上の留意点	紫外線予防も角膜、皮膚の障害を避ける上で重要。サングラスの着用、日焼け止めの塗布が奨められる。砂嵐が発生する際にはマスク着用が適当。
保健衛生	水道水の通常使用については衛生上の問題はないが、飲料水としてはミネラルウォーターの利用が望ましい。当地に特有の伝染病はない。また、生野菜を食べることも問題はない。乾燥のため鼻・のど・目・皮膚等を痛めやすい。
喫 煙	特段の制約はないが、世界的な影響を受け禁煙指向が高まっている。
治 安	数年前に大規模なテロが発生したが、現在は沈静化している。また、一般治安情勢は悪くない。 <u>むやみに写真撮影をすることは好ましくないとされている。特に空港や石油関連施設等、重要防護対象施設の撮影は厳禁（逮捕につながった事例あり）。</u>
言 語	アラビア語が公用語。ホテルやレストランでは英語が広く通じる。
宗教上の留意点	国民の大半はイスラム教の中でも特に戒律が厳しいワッハーブ派に属する。酒類・豚肉製品・女性の肌が露出している写真の載った雑誌等の持ち込みは厳禁。また、1日5回のお祈りの時間帯（都市・季節により変動）には、 <u>公共施設や商店は、空港や一部ホテルを除いて閉まってしまうため</u> （約30分間）、注意が必要である。ラマダン期間は日中は多くの店舗が閉鎖される。お祈りの時間の目安：1回目 03:40 頃、2回目 12:00 頃、3回目 15:20 頃、（7月） 4回目 18:45 頃、5回目 20:15 頃
飲 酒	禁止されている。飲食店ではノンアルコールビールが提供されている。
換 金 率	1サウジ・リヤル（SR）＝約30.09円（2018年7月現在） 1米ドル（USD）＝3.75サウジ・リヤル（SR）（固定レート）
クレジットカード	各ホテル、大型商店、レストラン等で、主要クレジットカードが使用可能。
チ ッ プ	特に必要はない。なお、ホテル、レストランでは10%～15%のサービス料が料金に加算される。（含まれていることが多い）
電 圧 等	コンセントは、次の Aタイプ Bタイプ BFタイプ Cタイプ 4タイプが混在している。電圧も110V、220V、240Vとあるが110Vは少ない。周波数は60Hzである。電気カミソリ等は電池式を持参する方が便利。 
インターネット	ADSL・LTE等が広く普及している。ジャック形状は日本と同様。

1. リヤド小史

リヤドは、18世紀末までナジド高原に多数散在する寒村の一つに過ぎず、当時は隣接するディライーヤが、第一次サウード王国の根拠地として繁栄し、この地方の拠点であった。このサウード王国は、1744年、ワッハーブ派の祖であるムハンマド・イブン・アブドゥルワッハーブが、当時ディライーヤの領主であり、同王国の初代首長であるムハンマド・イブン・サウードの全面的な支持、協力の下、宗教改革を始めたことで発展し、一方で、サウード家はこの宗教改革に乗じて勢力を拡大していった。

リヤドが繁栄したのは、1818年オスマン・トルコ皇帝の命を受けたエジプト軍の攻略により第1次サウード王国が崩壊し、ディライーヤが灰燼に帰し、ディライーヤに代わってサウード家の本拠となったためであり、以来ナジド地方の中心地として発展して来た。

その後、19世紀半ば、リヤドに第二次サウード王国が建国されるが、同世紀末再びオスマン・トルコの支援をうけた北部のイブン・ラシード家の攻略によってサウード家支配は崩壊し、追放の憂き目を見る。

1902年、クウェートに亡命していたアブドゥル・アジーズ（サウジアラビア王国初代国王）は少数の手勢と共に、リヤドに潜入、マスマク城にいたラシード家の総督アジュラーンを殺害、リヤド奪回に成功し、第三次サウード王国を興した。アブドゥルアジーズ王はさらに、北部のハーイル、東部のハサ、南部のアシール、西部のヒジャーズの各地方を次々に支配下に置き、1932年国名を「サウジアラビア王国」と改め、今日のサウジアラビア王国が誕生した。ここに、リヤドは従来の一地方都市からアラビア半島の大部分を占める一大王国の首都となった。

アブドゥル・アジーズ初代国王の時代に、最初の油田が発掘されて以来、サウジアラビア王国は、急速な近代化を迎えることになり、リヤドも大きな発展を遂げた。

現在、サウジアラビア王国が世界最大の原油埋蔵量を誇る大産油国としてその政治的、経済的影響力を増大させてきており、リヤドは今や世界各国の首脳が頻繁に来訪する名実ともに主要国際都市となっている。

2. 気候

リヤドは、アラビア湾まで約500Km、紅海まで約1000Kmの内陸にあるため、

典型的な大陸性砂漠気候で、気温の年較差・日較差が大きく、乾燥している。10月から3月にかけて比較的涼しい季節に雨も降り、年に数日、数時間の集中豪雨に見舞われることがある。その他の季節に降ることは、ほとんど皆無。敢えて4シーズンに分けてみれば、3～4月中旬が春、4月中旬～9月が夏、10～11月が秋、12月～2月が冬。春先には、砂嵐に見舞われることがある。

リヤド

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	14.3	18.6	20.5	27.9	33.0	35.7	35.8	36.7	33.3	28.3	21.9	15.4
最高気温 (°C)	29.2	34.5	35.5	41.8	45.0	46.5	46.1	46.0	45.6	39.1	36.7	29.5
最低気温 (°C)	1.0	7.6	6.0	12.4	20.5	22.6	24.0	25.0	18.0	16.3	6.3	3.2
平均湿度 (%)	48	47	28	17	10	8	9	10	14	15	28	38
最高湿度 (%)	97	95	89	55	40	21	19	63	37	59	82	92
最低湿度 (%)	10	15	4	3	1	2	3	3	4	4	5	6
降雨量 (mm)	24.5	6.8	6.8	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1

ジッダ

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	32.4	25.8	25.5	27.6	30.7	30.6	32.7	33.2	32.0	29.9	27.4	25.3
最高気温 (°C)	34.5	35.0	38.0	40.0	44.0	39.4	43.0	43.0	39.0	39.9	46.4	38.0
最低気温 (°C)	14.0	18.2	15.0	18.0	21.0	22.0	24.0	24.0	24.0	21.0	17.4	15.0
平均湿度 (%)	68	73	60	58	65	60	53	65	71	72	65	64
最高湿度 (%)	97	97	96	100	97	97	95	96	97	100	98	97
最低湿度 (%)	25	37	17	17	29	24	18	23	38	9	15	13
降雨量 (mm)	70.9	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	19

(出所 : BBC Weather Centre)

3. 宗教上の日課・行事

(1) 礼拝 (サラール)

イスラムの五行の一つとして日々の礼拝があり、1日5回の祈りの時間がもうけられている。祈りの時間帯は季節によって変動し、地域によっても異なる。例えばリヤドではジッダよりも約30分早い。礼拝時間は新聞に毎日記載されている。最近では礼拝時間を知らせるスマートフォンのアプリケーションも普及している。礼拝の時間を告げる合図 (ア

ザーン) がモスクから流れると、スーパーマーケット、銀行、レストラン等全ての店舗が約30分間すべて閉店となる。(尚、レストラン及び一部のスーパーマーケットでは、礼拝時間中、店内に留まることを認めている。) 従って、買物等はお祈りの時間を念頭において効率良く済ませることが必要である。

リヤドに於ける礼拝時間の目安

	夏 季	冬 季
暁の礼拝 (Al-Fajr)	03:30~	05:00~
正午の礼拝 (Al-Dhuhr)	12:00~	11:35~
午後の礼拝 (Al-Asr)	15:00~	14:30~
日没の礼拝 (Al-Maghrib)	18:40~	17:00~
夜の礼拝 (Al-Ishah)	20:00~	18:30~

(2) 休日

イスラム (ヒジュラ) 暦を基準としているので、官庁は金、土曜日が休み。その他の大半のオフィス等では金曜日は完全な休み、土曜日が半日または1日休みとなっている。

(3) 祝祭日

当国の祝祭日はイスラムに関するもので、ラマダン (断食) 月後の約1週間、ハッジ (巡礼) 月の約10日間。これらはイスラム暦に基づいているため、西暦では毎年約11日ずつ早くなる。2005年からは建国記念日 (西暦9月23日固定) も祝日に指定された。

(4) 断食

イスラム暦第9月 (ラマダン) に行うもので一ヶ月間 (2017年は5月27日~6月26日) が断食月と決められている。断食は毎日、日の出から日没まで一切の食物を断つもので、イスラム教徒以外の滞在者も日中の屋外での飲食、喫煙は一切禁止。一般にこの期間中の全ての機関・施設・店舗の日中の活動は大幅にスローダウンし、逆に日没後多くの店が開店し夜遅くまで賑わっている。

(5) ハッジ (巡礼)

巡礼はイスラム暦第12月8日から3日間 (2018年は8月19日~8月23日) 行われる宗教行事で、毎年300万人を超す巡礼者がメッカ、メディナの両イスラム聖地を訪れる。官公庁はこの時期の前後併せて10日程度休暇となる。なお、巡礼月後2~3カ月は不法滞在者に対する取締りが厳しくなり、身分を証明する書類を所持していなければ拘禁される事があるので、外出の際はイカーマ等の身分証明書を必ず携行する必要がある。

4. 出入国

(1) 入 国

A. 査 証

査証の事前取得が必要。入国の際に入国カードは不要。

B. 入国審査

外交及び公用旅券所持者は外交官専用審査窓口を利用可能。一般旅券所持者は一般窓口を利用するため、国際線到着便の到着が重なると長蛇の列ができ、審査を終えるまで1時間以上かかる場合もある。入国時の指紋登録・写真撮影が義務づけられており、入国審査窓口において実施される。

C. 通 関

通関時の検査は極めて厳しい。イスラム教の戒律に従い、アルコール類、信仰の対象となる偶像、ポルノ雑誌類（一般の雑誌でも水着やヌード写真があれば不可）、豚肉などの持ち込みは禁止。また、仮にアルコール類ではなくとも、瓶の形をしたものが入っていれば、荷物を開けるように言われたり、同様に、音楽CDであっても、ポルノDVDでないことを確認するために、1枚1枚チェックされたりすることもある。禁制品が見つかった場合には、没収及び始末書に留まらず、投獄の後、国外追放される場合もあり得る。

(2) 出 国

出国の際の検査は、入国の際と同様厳しい。出国カードは不要。出国審査後に、機内持ち込み荷物のX線検査がある。

※キング・ハーリド国際空港案内

キング・ハーリド国際空港がリヤドの空の玄関。空港は1983年12月に開港され、総工費32億ドル、225平方キロメートルに5つの一般用ターミナル及び1つの王室専用ターミナルがある。一般旅客ターミナルのうち、現在ターミナル1（外国航空会社発着）、ターミナル2（サウディア及び一部外国航空会社の国際線発着）、及びターミナル5（国内線発着、2016年5月より共用開始）が使用されている。ターミナル3は現在改装中、ターミナル4は未使用。

※VIP専用ターミナルはターミナル2とターミナル3の間の出発階に設置され、CIQも専用レーンとなっているが、利用に当たってはサウジ側受入れ省庁（ホスト）の許可及び申請が必要。VIPラウンジはターミナル2寄りにあり、広い敷地にソファとテーブルが設置してあるものの、簡易な仕切りのみで個室はない（軽食あり）。

入国時はボーディングブリッジを渡り入国審査場のある到着フロアには降りず、出発フロアのガラス扉から入るが、通常ガラス扉の内側に当館員及びホスト省庁儀典担当官が待ち受けて、VIPターミナルまで徒歩で移動する（※到着便が沖止めでバスにてターミナルへ行く場合、バス降車後、一旦出発フロアへ上がる必要がある。）。出国時は、入国時の逆ルートを使って搭乗する。

5. 両替

リヤド市内では、日本円の両替はできない。ドルやユーロは市内の銀行やホテルで両替できるが、ホテルでの両替は、多少レートが悪い。また、空港でも両替は出来るが、サウジリアル（SR）からドルやユーロ等への両替は、SR500（約133ドル）以上でないと受け付けてもらえない場合がある。トラベラーズチェックは、リヤド市内ではほとんど利用出来ないが、銀行にて現金化はできる。

6. 電話

携帯電話のレンタル料は、SR115（約30ドル）／日程度。日本への国際電話は、SR2.6（約70セント）／分で、夜間は割引なる。国内通話は、携帯電話相手で、SR0.4（約10セント）／分、固定電話相手で、SR0.1（約3セント）／分程度。電話のかけ方は以下の通り。

- ・国内通話（固定電話） → 地域番号（リヤド：011）＋相手の電話番号
例：日本大使館 011-488-1100
（携帯電話） → 相手の携帯電話番号
例：日本大使館員の携帯電話 05×-×××-××××
- ・国際電話（固定電話） → 00＋国番号＋地域番号（0をとる）＋相手の電話番号
例：本省 0081-3-3580-3311
（携帯電話） → 00＋国番号＋相手の携帯電話番号（0をとる）
例：日本国内の携帯電話 0081-90-××××-××××

7. 郵便

一般郵便は、国内、国外とも利用できる。市内にポストがあるが、定期的に収集されているか不明なので、直接郵便局へ持って行った方がよい。料金は、以下の通り。

葉書 国内：SR1（約27セント）／枚 GCC諸国：SR2（約54セント）／枚
その他：SR3（約81セント）／枚

封筒（～50g） 国内：SR2（約54セント）／枚

GCC諸国：SR3（約81セント）／枚 その他：SR4（約1.1ドル）／枚
封筒の場合は、重量が増加するのに伴い料金も上がる。日本へは通常1週間程度で届く。
また、EMSも利用できる。料金は以下の通り。

～500g 国内：SR50（約13ドル）／個

GCC諸国：SR60（約16ドル）／個 その他：SR145（約39ドル）／個

500g毎 国内：+SR8（約2ドル）

GCC諸国：+SR10（約2.5ドル） その他：+SR20（約5ドル）

8. 交通

(1) 航空機

リヤドをはじめ、現在20以上の国内空港がある。国際線は、主にリヤド、ジッダ及びダンマンに乗り入れている。チェックインは、国際線が出発2時間前、国内線が出発1時間前までに行うのが望ましい。通常リコンファームは不要。

主な航空会社の電話番号は以下の通り。※は、市内局番（011）不要。

- | | |
|--------------------------------------|-------------------|
| ・サウジ航空（SV） | TEL：488-4444 |
| ・エールフランス航空（AF） | TEL：800-124-9995※ |
| ・ブリティッシュミッドランド航空（BD） | TEL：211-8014 |
| ・ルフトハンザ航空（LH） | TEL：463-2004 |
| ・キャセイパシフィック航空（CX） | TEL：479-3232 |
| ・エミレーツ航空（EK） | TEL：486-7000 |
| ・エティハド航空（EY） | TEL：477-4222 |
| ・カタール航空（QR）（2017年6月5日以降断交の影響を受け運行停止） | |
| ・ガルフ航空（GF） | TEL：462-6666 |
| ・フライナス航空（XY） | TEL：449-7440 |
| ・イエメン航空（IY） | TEL：403-9248 |
| ・クウェート航空（KU） | TEL：464-0515 |
| ・ロイヤルヨルダン航空（RJ） | TEL：218-0850 |
| ・トルコ航空（TK） | TEL：463-1600 |
| ・エジプト航空（MS） | TEL：92-00-22292※ |
| ・ミドルイースト航空（ME） | TEL：465-6600 |

(2) 鉄道

リヤド～ダンマン間にあるのみで、通称「ダンマン列車」。格安の移動手段として、出稼ぎ労働者等で混んでいる。1日5往復あり、所要時間は4～5時間。途中、ホフーフ、アブカイクに停車。料金は、一等クラスSR135（約36ドル）、二等クラスSR75（約20ドル）、三等クラスがSR60（約16ドル）（ノーマル列車のみ）。予約はリヤド駅（電話448-0000）、またはサウジ鉄道機構(Saudi Railways Organization)ウェブサイトまで。リヤド駅は、市内の南、旧市街地にある。英語を解すオペレーターは常駐していることになっているが、いない場合も多い。また、リヤド市内を結ぶ地下鉄が現在建設中で、2019年完成予定。



モダン列車



ノーマル列車

(3) バス

主要都市及び市内にはバスのネットワークがあるとされているが、利用者はほとんどインドやパキスタンからの出稼ぎ労働者であり、ルートが分かりにくく、利用は難しい。

(4) レンタカー

レンタカーは空港、一流ホテルのカウンター等で、HANCO、EUROPCAR、AVIS、BUDGET等の有名会社のものを、運転手付き、なしのどちらでも借りられる。

(5) タクシー

タクシーは白地の車体で屋根の上にTAXIと書かれており、空港周辺の他、市内各所を走っている。システムは、日本のタクシーのようにメーター制の場合もあるが、メーターがついてない場合もある。メーターがついていない場合は、乗る前に料金を確認あるいは、交渉する必要がある。運転手が出稼ぎ労働者の場合は比較的英語が通じるが、サウジ人の運転手だと外国語が全く通じない場合がある。主な料金の目安は下記を参照。

市内←→外交団地区(Diplomatic Quarter) 20～30 SR（約5～8ドル）

市内←→空港 60～70 SR（約15～19ドル）

(6) Uber・Careem

UberやCareemなどの個人タクシーは近年一般タクシーよりも普及していて、館員や在留邦人の利用実績も多い。利用方法はスマートフォンのアプリをダウンロードし、出発地と

目的地をアプリ内の地図に入力するだけである。価格はタクシーとほぼ同じ、もしくは多少安く、距離や時間帯、渋滞加減によって自動で値段が決まるため、値段交渉をする必要も無くタクシーよりも使い勝手が良い。支払いは現金もしくはクレジットカードから選択可能。